

子育て地域サポーターの実施について

1 現 状

本区では、平成 29 年度から「子供育成活動支援事業」として、孤立しがちな子育て家庭への食事提供や、子供に対する学習支援を行う団体に対して補助を行っている。こうした活動を行い、区が支援している団体は 4 団体あり、平成 29 年度の実績では、延べ 3,162 人の子供が学習支援を利用している。

また、学習支援を受ける子供達のなかには、学習習慣のついていない子供もおり、きめ細かな指導が必要となっているが、現状では、ボランティア 1 人につき 3 人の子供が指導を受ける状況となっている。

[子供育成活動における学習支援ボランティア数（平成 29 年度）]

団体名	利用者数	ボランティア数	1 回あたり利用者数	1 回あたりボランティア数
台東区の子育てを 支え合うネットワーク	1,499 人(117 回)	634 人	12.8 人	5.4 人
セカンドハーベスト・ ジャパン	472 人(133 回)	180 人	3.5 人	1.3 人
東京保健生活協同組合	376 人(82 回)	164 人	4.6 人	2.0 人
(福)愛隣団	815 人(133 回)	266 人	6.1 人	2.0 人

2 課 題

学習支援を受ける子供達に対する指導の効果を更に高めていくためには、マンツーマンでの指導が重要であり、指導を行うボランティアを一層確保していくことが必要である。各団体ともそれぞれのネットワークを生かしボランティアを募っているが、十分な確保ができていない状況である。

3 方 向 性

子供育成活動は孤立しがちな子育て家庭や、その子供達を支援する重要な取り組みであり、区がこうした取り組みを支援するためにボランティアの確保を図ることの意義は大きい。

そのため、本区においても、子供育成活動に従事するボランティアを募り、その活動を担う団体に繋いでいくことで、学習支援におけるマンツーマンでの指導が行えるようボランティアの充実を図る。

4 事業

(1) 目的

地域で実施している子育て支援関係事業を推進させるため、区にボランティアとして登録している者(子育て地域サポーター(以下、「サポーター」という。))に従事させ、子供の育ちを地域で支える環境づくりを支援する。

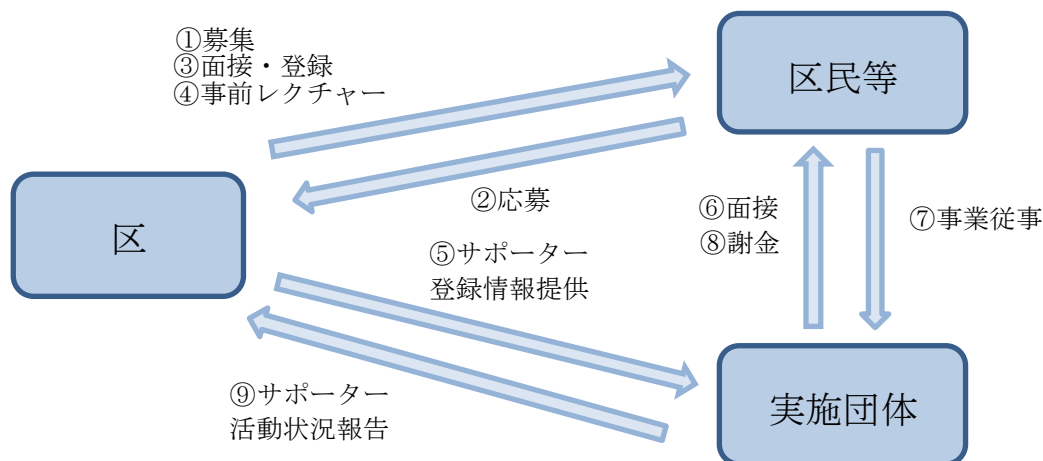
(2) 内容

令和元年度は、子供育成活動支援事業実施団体での学習支援を対象として実施する。(令和2年度以降は、子育て支援関係の事業でサポーターが必要な事業も対象として実施していく。)

<事業の流れ>

- 1.募集 区ホームページ、広報たいとうの他、家庭教育支援者養成講座等の講座での周知や大学等他機関への働きかけ
- 2.面接・登録 応募者の面接及びサポーターとしての登録を区で実施
名簿登録者に対し、区の子育て支援事業の概要等をレクチャー
- 3.情報提供 事業実施団体は、区からサポーターの登録情報を受け、登録者と面接を実施
- 4.従事 サポーターへの謝金その他必要な経費は、各団体が、現行の子供育成活動支援事業の補助金の範囲で支出(1日1,000円)
事業実施団体は、区にサポーターの活動状況を報告

<イメージ図>



(3) 募集数

30人 (各団体へ1回につき2人のサポーターが従事)

5 今後のスケジュール(予定)

令和元年 ~ 9月 子供育成活動支援事業実施団体へ説明
サポーター募集、面接、登録後各団体に従事